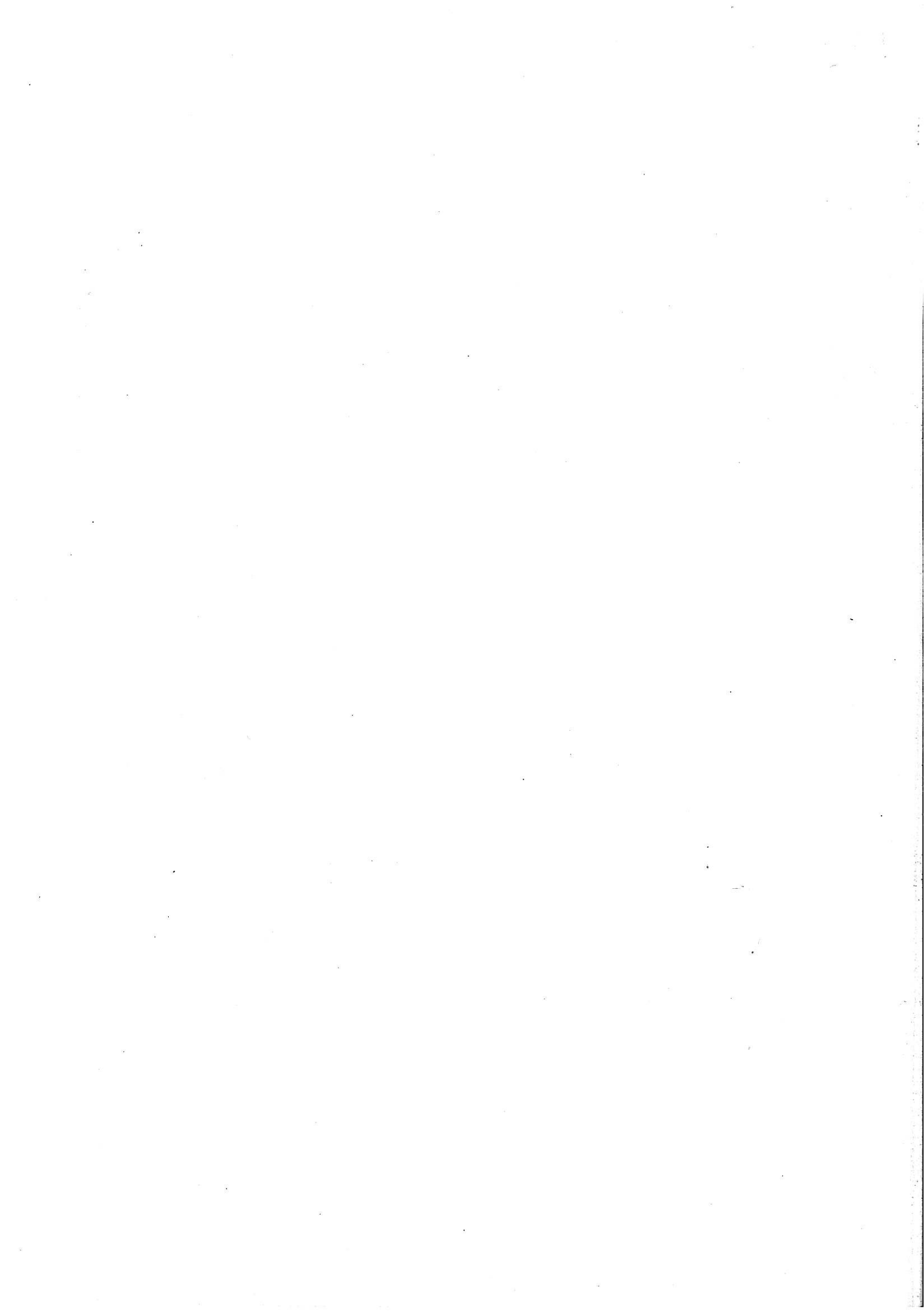


LINN KARIK

COMPACT DISC PLAYBACK SYSTEM OWNERS MANUAL



MUSIC FOR LIFE

音楽 それは快適な生活のために

音楽は生活を豊かにしてくれます。

しかしそれは、生で聴く演奏や、きわめて高いクオリティで
再生された音楽だけが持っている力です。

そして優れた HI-FI は、様々な音楽の感動、
喜びに触れる機会をふやしてくれます。

LINN HI-FI を通して、生活をもっと快適に、豊かにしてくれる、
たくさんの素晴らしい音楽と出会っていただければ…。
それが私たちの願いです。

LINN **KARIK** CD PLAYER

リンのKARIK（カリック）CDトランスポートは、長年にわたる情報収集と開発をもとに完成しました。優れた音楽ソースを用いることにより、すばらしい演奏水準を達成することが出来るように設計されています。

KARIK はCDとして最高級レベルの音楽再生を行います。KARIK はミスを修正し、録音状態の良くないCDからでも、優れた音楽再生をすることが可能のように出来ています。KARIK は、リモコンでも、またフロントパネルのコントロールによっても作動させることが出来ます。

KARIK は単体でも御使用頂けますし、またどのD/Aコンバーターとも御一緒に御使いいただけるように設計されていますが、LINN NUMERIK（ヌメリック）と共に御使いいただくと最も効果を発揮するようつくられています。

目次

1. はじめに	2
a. 内容物	2
2. 設置と接続	3
3. 操作	4
a. 再生	4
b. ディスプレイ	7
c. リピート	7
d. プログラム	8
e. デジタル出力	9
4. お手入れ	10
5. 一般的なシステムのセッティング	12
6. 仕様	13
7. 安全にお使いいただくために	14
8. 保証とサービス	16

1. はじめに(電源を入れる前に)

a. 内容物

KARIK CDプレーヤー 本体

リモコン(このリモコンは他の LINN 製品の基本的な操作も行えます)

取扱説明書

電源コード

スペアヒューズ

RCAピンコード 1ペア

セッティングに際して

元箱は後日お役に立つこともございますので保管しておいて下さい。

KARIK はリンの代理店販売員が責任を持ってセッティングをさせていただきます。お気づきの点、ご質問等ございましたら販売員までお訊ね下さい。もしくはリンジャパン、英国リン本社に直接お問い合わせいただいても結構です。

※ 出来るだけアースをお取り下さい。

詳細については、販売店におたずね下さい。

2. 設置と接続

1) 出力端子

KARIK は、プリアンプとつないだり、マルチルームシステムのような他のHI-FIシステムに直接接続したりするためのオーディオ出力が備えてあります。デジタル出力は、75Ω BNCコードによってNUMERIK に、もしくはBNCフォノアダプターを用いて他のオーディオ装置に接続されます。

2) 入力端子

KARIK には NUMERIK と共にお使いいただくときのための同期入力端子があります。KAIRK 単体もしくは他のDAコンバーターとお使いの際はお使いいただく必要はありません。

3) SLEEP(スリープ)モード

バックパネルの **DISPLAY** (ディスプレイ) スイッチを入れ、パワーが入った状態していると KARIK はスリープモードになります。また、20秒間使用しない状態が続くとディスプレイは自動的に切れ、2本線を表示します。使用するにあたっては、フロントパネルもしくはリモコンによりディスプレイを起動することが出来ます。スリープモードはリンのプリアンプ KAIRN (ケルン)、チューナー KREMLIN (クレムリン) にも共通のシステムで、電力消費を少なくし、製品の負担を軽減するものです。

電源を切った状態で、KARIK 後部のディスプレイのスイッチを操作することによって、ディスプレイを常時点灯させた状態にするか、もしくはスリープモードへの変更させるか、を選択することができます。

4) 付属品の接続

リモートコントロール端子の接続

KARIK のリモートコントロールシステムは KNEKT マルチルームシステムでを使用することを目的として作られています。この設備はリモコンによりご家庭の別の部屋のシステムの音楽を楽しんだり、操作をすることを可能にするものです。くわしくは KNEKT マルチルームシステムの取扱説明書をご覧ください。

3. 操作

KARIK は低電力消費でクールランニングするよう設計されていますので、ご使用になられていない間は電源を切っておかれることをお勧めします。

a. 再生

1) 電源のON/OFF

本体の **POWER** ボタンを押します。

ディスクが装填されていない場合、ディスプレイは **[00]** を表示します。

PLAY の文字は、およそ8秒間点灯した後、消灯します。

2) ディスクの挿入

OPEN (オープン) ボタン押してトレイを開けます。

お聴きになるディスクの印字を上向きに正しくセットします。

もう一度、**OPEN** ボタンを押すとトレイが閉まります。

3) 演奏

PLAY▶ ボタンを押します。

現在演奏中の曲を最初から再生したいときには

PLAY▶ ボタンを再度押してください。曲の最初に戻り、演奏を再開します。

4) 選曲(スキップ)

1) 別の曲を選択するには

(1) SKIP ►►、◄◄ SKIP のボタンを使用しての選択

SKIP ►►、◄◄ SKIP ボタンを押して下さい。次の曲の最初に進む、もしくは現在の曲の最初に戻ります。

SKIP ►►、◄◄ SKIP ボタンを押したままにしておくと、手を放すまで前後に進みます。

SKIP ►►、◄◄ SKIP ボタンはCDが停止（ポーズ/ストップ）している際にも、またミュートの状態においても同様の方法で操作可能です。操作後、PLAY ► ボタンを押して頂くとCDが再生されます。

(2) リモートコントロールを用いてのダイレクト選曲

リモートコントローラーの文字盤を用いてダイレクトに選曲することも可能です。

1から9までの曲番号を選択するには

その数字のボタンを軽く押してください。ディスプレイに数字が表示されます。ボタンから手を放すと KARIK は選択された曲の演奏を開始します。

10から99までの曲番号を選択するには

まず最初の数字を押したままにしてください。数字がディスプレイに表示されます。0.5秒後、ディスプレイの数字がひとつ左に移動し、
[－] がもとの位置に戻ります。それを確認したら1の位の数字を押してください。

[－] が数字に変わると KARIK は選択した曲の演奏を開始します。

2) 曲内でのスキップ

曲の中には、より細かい部分に分かれているものもあります。これを INDEX（インデックス）と呼びます。インデックスごとのスキップも可能です。

(1) 前後のインデックスを選択する場合

INDEX ►、◄ INDEX ボタンを一度押して下さい。次のインデックス、もしくは現在演奏中のインデックスの先頭に移動します。

5) サーチ

◀◀SEARCH、SEARCH▶▶ ボタンを押します。

最初の4秒間は徐々にサーチしその後スピードが速くなります。

音を確認しながら行えます。

CDが停止状態での操作も可能です。

6) 一時停止

PAUSE ■ ボタンを押します

もう一度 PAUSE ■ ボタンか、PLAY ▶ ボタンを押すと演奏を再開します。

一時停止したままスキップ、サーチを操作することも可能です。

7) 停止

STOP ■ ボタンを押します。

ディスプレイモード時

TRACK、INDEX の文字が点灯し、ディスクの総曲数を表示

タイムモード時

TOTAL、TIME が点灯し、総演奏時間数を表示

その後 TRACK モードに戻ります。

b. ディスプレイ

TRACK (トラック) と **INDEX** (インデックス) の情報を表示するものです。
パワーアップの状態においては **KARIK** はディスプレイモードにトラックを選択します。ディスクが演奏を中止すると、**KARIK** は **TRACK** (トラック) モードに戻ります。

① **TRACK** → ② **TRACK TIME** → ③ **REMAIN TRACK TIME**
→ ④ **TOTAL TIME** → ⑤ **TOTAL REMAIN TIME** → ①

TRACK: 演奏中のトラック番号、インデックス番号を表示します。
CDが装填されていない場合は **[00]** を表示します。

TRACK TIME: 演奏中のトラックの経過時間を表示します

REMAIN TRACK TIME:
演奏中のトラックの残り時間を表示します

TOTAL TIME: 演奏中はトータル経過時間、停止時はディスクの全演奏時間を表示します。

TOTAL REMAIN TIME:
演奏時点からの残り時間を表示します

c. リピート

A. 全体を繰り返す

REPEAT ボタンを押します。

REPEAT 表示が点灯し、取り消すときは同じキーボタンを2回押します。

B. 区間リピート

区間リピートを開始するところで **REPEAT** ボタンを1回押し、終わるところでもう一度 **REPEAT** ボタンを押します。

◀◀SKIP、**SKIP▶▶**、**◀◀SEARCH**、**SEARCH▶▶** ボタンを使って終わるところを探すこともできます。

取り消すときは **REPEAT** ボタンをもう一度押します。

d. プログラム

A. お好みのトラックを演奏する (プログラム モードA)

- ① ディスクが装填され演奏中でないことを確認します。(指示灯が▶を表示しておらず、ディスクの曲数を表示していることを確認してください。)
- ② リモートコントロールの **DISPLAY** ボタンを [P---A] の表示が出るまで約2秒間押し続けます。 **DISPLAY** ボタンを離すとディスプレイは [P00] と表示します。(長くボタンを押しすぎると [P---b] が表示されることがあります。その際は **OPEN** を2度押して下さい。)
- ③ フロントパネルの **◀◀SKIP, SKIP▶▶** ボタン、もしくはリモートコントロールの0~9ボタンを使ってプログラム1曲目のトラック番号を選んでください。 **DISPLAY** ボタンを一度押すことにより、1曲目が登録され [P01] と表示します。
- ④ 以後、③の手順により、20トラックまで登録することができます。ディスプレイは [P02], [P03] …… と、登録順に表示します。
- ⑤ **STOP■** ボタンを押して完了します。ディスプレイはプログラム登録曲数を表示します。

※ 追加するときは、再び **DISPLAY** ボタンを [P---A] が表示されるまで押してください。追加登録ができます。追加登録を終了するには **STOP■** ボタンを押してください。

※ ディスプレイ表示はまず曲番号、次にプログラム番号を表示します。
(例: 7番目の曲を3番目にプログラムすると [703] と表示)

※ プログラムの解除は **OPEN** ボタンを押してトレーを開けるか、電源を切って下さい。

- ⑥ **PLAY▶** を押すと再生を開始します。再生待ち状態にするには **PAUSE■** を押してください。 **PAUSE■** もしくは **PLAY▶** を押すと再生を開始します。

B. あるトラックを除いて演奏する (プログラム モードB)

- ① ディスクが装填され、演奏中でないことを確認します。
(確認方法：Aを参照)
- ② リモートコントロールの **DISPLAY** ボタンを [P---B] の表示が出るまで約4秒間押し続けます。**PROGRAM** ボタンを離すとディスプレイは [P00] と表示します。
- ③ プログラムモードAと同様にして登録します。

※ プログラム中のサーチは、CD収録順にトラックを移動しますので、プログラムされていない曲も演奏することができます。その時プログラムは保存されていますので ◀◀**SEARCH**、**SEARCH**▶▶ ボタンを離したトラック以降はプログラム通り選曲します。

e. デジタル出力のON/OFF

フロントパネルの **DIGITAL** ボタンを押します。出力OFFのときは、ディスプレイの **DIGITAL** 表示が消えます。この機能はLINN NUMERIK D/Aコンバーターを用いたシステムに KARIK を使用するときのためのもので、トランスポート側でコンバーターの動作を操作するときに使います。現在2系統以上の入力端子をもつD/Aコンバーターをお使いの場合、コンバーター内部の相互干渉を避けたいときにもお使いいただけます。

4. お手入れ

KARIK のお手入れ

ホコリや指紋は固く絞った清潔な布で取り除いてください。

家庭用洗剤類の使用はお控えください。

※ KARIK は長寿命を前提として設計されており、LINN 販売店によって継続してサービスが受けられます。

CDソフトのお手入れ

CDソフトは決して完全無欠のメディアではありません。CDソフトを長持ちさせ、性能を発揮させるために次の点にお気をつけ下さい。

- 1) CDソフトのどちらの面にも触れないでください。CDソフトのエッジの部分のみを取り扱うようにしてください。
- 2) CDソフトの両面の傷やホコリのせいで、トランスポート内における信号保証回路の動きが過度になります。この信号読み取り保証回路の複雑な動きは音質劣化をもたらします。CDソフトの大きな傷や汚れは、音飛びの原因になり、時には信号の読み取りを不可能にします。
- 3) CDソフトのセンターホールは初期状態を保っている必要があります。センターホールが正確にフィットすることが、よりよい音楽再生の要だからです。
- 4) 極端に高い気温の場所は避けてください。高温による変形で平面性の失われたCDソフトは信号読み取り保証回路の動きを複雑にし、音質の劣化の原因となります。

ヒューズの交換

注意：正しいヒューズを選択するようにして下さい。

1. 電源を切ってACコードの接続をカットします。
2. 小型のードライバーを電源コード差し込み口横のヒューズボックスの、上の隙間に差し込んで、てこの要領でドアを開きます。

注意： ボルテージ選択バレルを取り外したり、動かしたりしないよう、ご注意ください。

3. ヒューズホルダーを取り出し、ヒューズを新しいスペアヒューズに取り替えます。
4. ヒューズホルダーを矢印が右を向く形に戻し、ドアを元通りに閉めて下さい。

※ 新しいヒューズが破損するようなら、本体に欠陥がある可能性があります。本体をリン販売店までお送りください。

5. 一般的なシステムのセッティング

ターンテーブル：最も望ましいのはターンテーブルを小さく、軽く、しっかりした台の上に置くことです。壁つけタイプのラックを利用する際も同様です。

CDプレーヤー：KARIK は水平な場所に設置してください。相互に外乱を与えないように設計されているので、KAIRN、KREMLIN、NUMERIK と直接積み重ねて使用することもできます。

パワーサプライ：信号ケーブル、ターンテーブルやプリアンプ類と接近させすぎないように設置してください。

アンプ：プリアンプとパワーアンプを接近させすぎるとハムを誘導することがあります。ハムのでない場所に設置してください。

スピーカーシステム：

スピーカーシステムはしっかりとしたスタンドにきちんとマウントして、ぐらつく要素をなくさなければなりません。

接続ケーブル：機器間の接続には良質の銅製ケーブルを、スピーカーコードには、K20 のような4mm²の銅製多芯線をご使用下さい。
LINN 販売店には、コンポーネントを接続するために良質のケーブル類が用意されています。

接点クリーニング：HI-FI システムにおいては電氣的接点が汚れのないものであることが重要です。時々プラグを抜き差しすることによって効果的に接点クリーニングをすることができます。

※ 接点クリーニングは、電源を切ってから行ってください。

6. 仕様

寸法	幅	320mm
	奥行き	325mm
	高さ	80mm
	重量	5.3kg

トランスポート LINN MEKK 001

レーザーピックアップ 3ビームレーザーピックアップ

入力

CD同期入力	MASTER/SLAVE 入力コネクション
	端子 RCA PHONO
	入力レベル 0-10 DC
リモート入力	カレントループ リモートコントロール入力
	最大DC 40mA
	入力感度 5mA
	バイアス 10V

出力

S/P-DIF デジタル信号出力

端子	BNC (75Ω)
出力レベル	0.5V (P-P)

リモート出力 カレントループ リモートコントロール出力

端子	RCA PHONO
出力レベル	6mA

7. 安全にお使いいただくために

危険

- カバー内部には、ユーザーの方で自身がメンテナンス可能なパーツは含まれておりません。絶対にカバーを取り除かないでください。お買い求めのリン販売店まで、ご連絡下さい。
 - ヒューズ交換の際は、必ず元と同じタイプのものをご使用下さい。
 - ヒューズ交換前には、必ずコードを先に抜いてから行ってください。
 - 本品は、それぞれ国ごとに異なった電源コードと共に出荷されています。電源コードの付け換えはご自身でなさらないでください。
-
- 1 ご利用いただく前に必ず取扱説明書（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
 - 2 後々のご利用のため、取扱説明書は必ず捨てずにお持ちください。
 - 3 取扱説明書には様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
 - 4 取扱説明書の使用方法に従って製品をご利用下さい。
 - 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないでください。
 - 6 販売店のお勧めするスタンドをご使用下さい。
製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行ってください。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
 - 7 壁面、天井への据え付けは販売店にご相談ください。
 - 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込式設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げますのでなさらないでください。
 - 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないでください。
 - 10 取扱説明書に記載、もしくは製品に記された電源にのみ接続してください。
 - 11 製品には必ずアースをおとりください。また、ケーブルの極性にご注意ください。

- 1 2 コードは製品につぶされないようご注意ください。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 1 3 製品は取扱説明書（本冊子）または販売員のお勧めする方法にしたがってクリーニングを行ってください。
- 1 4 電源ライン付近にアンテナを設置しないでください。
- 1 5 チューナー／レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 1 6 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いてください。
- 1 7 製品の内部にもものや液体が入らないようご注意ください。
- 1 8 以下のような症状が発生したら、販売員までご連絡下さい。
 - a) 電源コード、もしくはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

8. 保証とサービス

アフターサービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店に御相談ください。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証書によるお取り扱いができないことがあります。御不明の点は最寄りのリン販売店にご相談ください。

リンの製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における瑕疵があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも、保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力ください。

(ご返送先：株式会社 リン ジャパン)

注意： リンの製品の修理は、リン特約店にお任せください。特約店以外の修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。

お手持ちの製品について御不審な点がございましたら、最寄りのリン販売店までご連絡下さい。

*領収証は御購入日確認のため必要です。大切にお持ちください。

*修理のための運搬時の破損はお客様御負担とさせていただきますのでご注意ください。

総輸入代理店

株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル:0120-126173